

東松島市と東日本電信電話株式会社宮城事業部が連携協定を締結

～SDGsの推進に向けた統合型校務支援システムに関する連携協定～

東松島市(市長:渥美 巖)、東日本電信電話株式会社宮城事業部(事業部長:中村 浩 以下、NTT 東日本)は、SDGsの推進に向け、統合型校務支援システムに関する連携協定を締結しました。

1.背景と目的

東松島市は日本政府より2018年6月15日に「SDGs未来都市」として選定を受け、「SDGs未来都市計画」を策定し、「こども・若者・高齢者の全世代にわたって住みよいまちづくり」を推進しております。

今回はその中でも「教育」に関して、NTT 東日本が提供する、小中学校の教職員の校務事務にかかる負担を軽減する統合型校務支援システム*1やAI(人工知能)を利用した手書き書類のデジタル化サービス*2、デジタル化されたデータのシステムへの入力等パソコン操作の自動化をすすめるサービス*3の活用により校務に関わる時間を削減し、学校現場の働き方改革を進めるとともに、教員が授業や授業準備に集中し、教育の質を高める環境の構築や教職員が子供たちと寄り添う時間の創出等を目指し、効果を検証する実証実験を行います。

*1「Biz ひかりクラウド おまかせ校務」 *2「AIよみと〜る」 *3「おまかせ RPA」

2.連携事項

- (1) 統合型校務支援システムに関すること
- (2) AI-OCR*4(AIを活用して文字を読み取りデジタルコードに変換する技術)および RPA*5(パソコン上で定型業務を自動処理するプログラム)に関すること
- (3) その他、両者が協議のうえで必要と認めた事項

*4「Optical Character Recognition、光学的文字認識」 *5「Robotic Process Automation、ロボティック・プロセス・オートメーション」

3.協定の期間

2019年9月30日～2021年3月31日

4.実証実験の実施場所

- ・東松島市立矢本西小学校
- ・東松島市立鳴瀬未来中学校

5.実証実験の内容

(1)統合型校務支援システムに関すること

- ・グループウェア機能・成績機能に関する支援機能の効果検証

統合型校務支援システムの導入前後における業務の必要時間や負担感などをアンケート調査し、各機能ごとの効果を検証します。

(2)AI-OCR*1 および RPA*2 に関すること

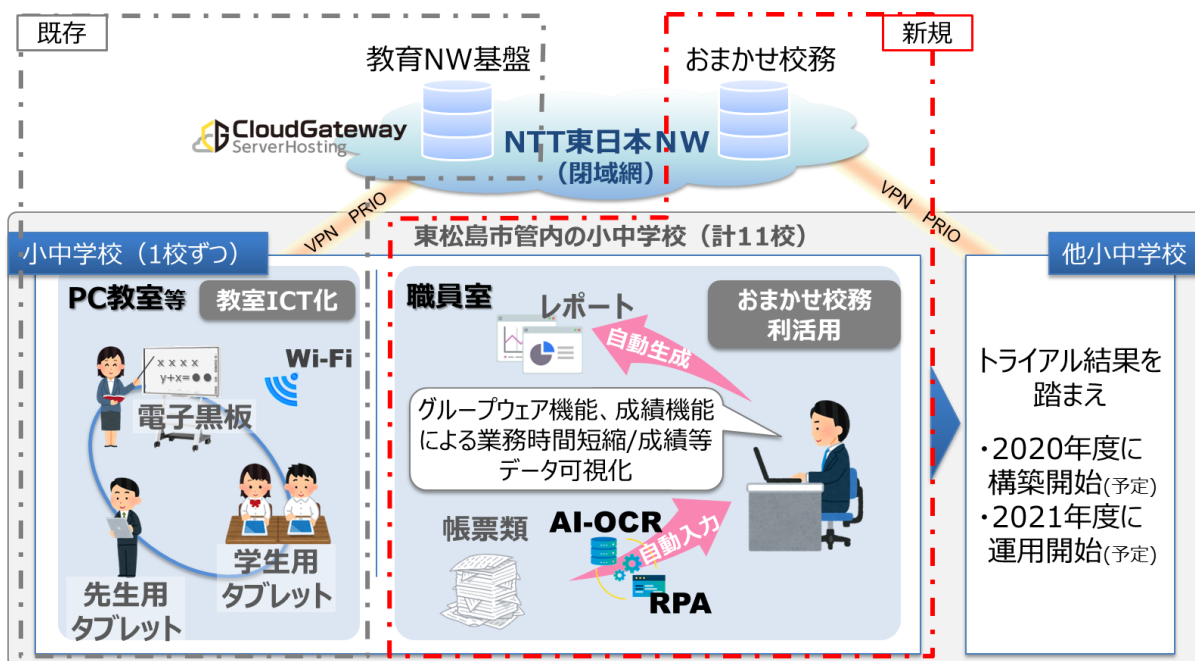
- ・統合型校務支援システムに AI-OCR や RPA を組み合わせることによる効果検証

各校で実運用される同システムに対し、AI-OCR や RPA を併用することで、入力作業等の省力化の効果検証を実施します。

- ・その他校務に AI-OCR や RPA を組み合わせることによる効果検証

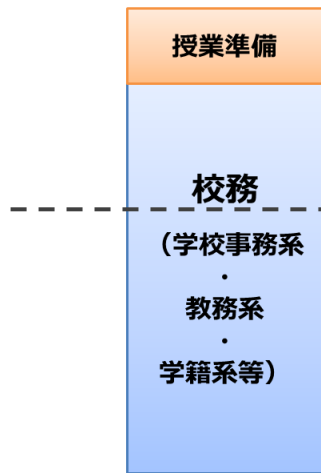
同システムのカバー対象外の業務(児童生徒へのアンケート調査・集計、各種行事の出欠管理等)に対し、AI-OCR や RPA を活用することによる業務の省力化の効果検証を実施します。また、教職員のどのような業務に AI-OCR や RPA が活用可能か調査するため、教職員へのアンケートや聞き取りのほか、教職員に終日同行し、業務の可視化や省力化可能業務の洗い出しを実施します。

6.実証実験のイメージ



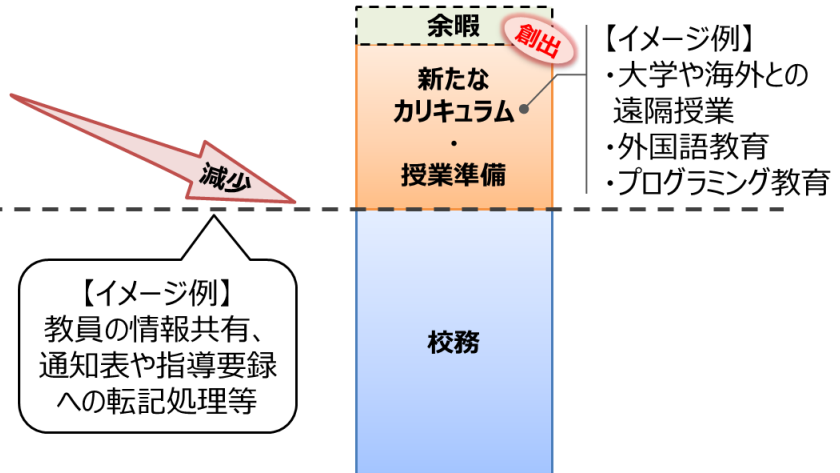
効率化による校務時間の削減

「本来取り組むべき課題」に
向き合う時間の増加



教育の質/生活指導の質の向上

「学力向上」
「不登校生徒減少」の実現



7.お問い合わせ先

<連携協定の内容に関するお客さまからのお問い合わせ先>

NTT 東日本-東北 宮城支店(担当:中里、原田)

Tel:0120-913-355(平日:午前9時~午後5時)

Mail: 1vc3u-ml@east.ntt.co.jp